

NPO 横断型基幹科学技術研究団体連合  
2006 年度 第 4 回理事会 議事録抄録

日時：2006 年 10 月 24 日（火）15:00 ～ 17:00

場所：キャンパス・イノベーションセンター 812 号室（東京都港区芝浦）

出席者：（敬称略、順不同）

理事：江尻正員、長田 洋、木村忠正、佐野 昭、榎木哲夫、鈴木久敏、出口光一郎、西村千秋、林 利弘、原 辰次、廣田 薫、藤井眞理子、矢川元基、安岡善文  
委任状提出者：石原 直、福永哲夫、松永 是、柳川 堯  
事務局：井上雄一郎、清水祐美

議事：

I. 理事会成立の確認： 理事総数 23、出席者 18（うち、委任状提出者 4）

II. 議長の選任および議事録署名人の指名

議長： 江尻正員理事・副会長

議事録署名人： 江尻正員理事・副会長（議長）、出口光一郎理事、原 辰次理事

III. 議事経過の概要および議決の結果

A. 審議・決議事項

A-1. 前回議事録案および同抄録案の承認

前回理事会の議事録案、議事録抄録案を確認した。

A-2. 「イノベーションに係る知の融合調査」資金繰りについて（出口理事）

本調査の実施にあたり、過渡的な資金繰り対策の必要が生じたため、横幹技術協議会に一時的融資を依頼することが提案され、審議の結果、承認された。本件は出口理事に一任する。

A-3. 受託研究にかかわる受託単価内規の改訂について（出口理事）

本内規の改定案が示され、審議の結果、承認された。

B. 報告・承認事項

B-1. 横幹意見交換会の報告（江尻副会長）

横幹連合、横幹技術協議会の各会長、副会長らによる会合が開催されたことが報告された。

・横幹技術協議会の桑原 洋会長より、次のような申し入れがあった：

横幹技術協議会では「横幹科学技術」を、枠を広げて捉え直し、企業が関心を持っているテーマを中心に据えていきたい。リアルオプションなどの新しい領域の横幹技術、人文社会学との融合などを積極的に取り入れつつ、企業のニーズに即した具体性のあるテーマへの取り組みを通して、産業界への貢献を目指す。引き続き、横幹連合との連携を図っていきたい。

・これをふまえて議論を行った結果、今後、横幹連合と横幹技術協議会とによる大型プロジェクトの立ち上げを目指すなど、連携をさらに深めていくことで合意した。

B-2. 内閣府委託調査の状況報告（出口理事）

入札の結果、内閣府より「イノベーション戦略に係る知の融合調査」を正式に受託したことが報告され、委託業務の概要が示された。また、委員会・WG を組織し活動を開始したこと、ヒアリング、web 上でのアンケートによる調査を行うことなどが報告された。web 上でのアンケートには、会員学会を通して協力を呼びかける。

### B-3. 各委員会からの報告

#### (ア) 企画委員会（江尻副会長）

第3回会合の概要が報告された。経産省によるアカデミック・ロードマップ作成の動きをふまえ、横幹連合としても独自の取り組みを行うことが提案され、承認された。

#### (イ) 事業・広報・出版委員会（江尻副会長）

- ・事業：知の統合ワークショップを開催した。
- ・広報：ニュースレター7号を予定通り発行した。ホームページの英語化作業を進めている。
- ・出版：会誌「横幹」について、創刊号目次等の具体案を検討した。
- ・三つ折判パンフレットの改訂が提案され、賛同を得た。本件は広報の担当とする。

### B-4. 第2回横幹連合コンファレンス開催企画案（樫木理事）

開催に向け企画案が示された。

- ・開催日程・会場：2007年11月29～30日、京都大学 百周年記念館にて開催する。
- ・幹事学会：ヒューマンインタフェース学会に依頼し、理事会の承認を得た。
- ・組織：実行委員長は樫木理事、副委員長は安岡理事、能勢理事に決定。プログラム委員長は椿 広計氏（筑波大学）に依頼する予定。
- ・後援・協賛等：京都大学 COE に協賛を依頼し、特別セッションを設ける。

### B-7. プロジェクト一括請負契約の状況報告（江尻副会長）

プロジェクトDの契約締結にかかわる進捗状況が報告された。

## C. その他

### C-1. 事務局からの報告等

- (1) 会計報告：9月度の収支計算書が報告され、了承された。
- (2) 定款変更手続き：内閣府からの認証を受け、変更手続きを完了したことが報告された。